

糖尿病カンバセーション・マップの進行役トレーニングを受けて参りました(^_^)v

近年、日本糖尿病協会療養指導委員会が中心となって、新しい療養支援ツールである「糖尿病カンバセーション・マップ」の日本における普及が進められつつあります。IDF（国際糖尿病連合）から日本での普及を委嘱された日本糖尿病協会が実施する講習会の修了者が、ファシリテーターとしてマップの使用を認められます。



写真は日本糖尿病協会ホームページより引用

糖尿病カンバセーション・マップ（以下、カンバセーション・マップ）とは、大きなスゴロクのような「会話のための地図」を囲んで、糖尿病患者様やそのご家族が、5～10人のグループを作って話し合うための学習教材です。糖尿病に対する知識を学べるだけでなく、患者様同士の情報交換の場となり、糖尿病に対する思いを語り合うことで、境遇を同じくする者同士が共感性を持つことができる、大変有用性の高いものです。患者様やそのご家族に、是非カンバセーション・マップを体験していただき、糖尿病療養に対する自己効力感が高まり、入院生活がより意味深いものとなるよう関わり支援しつつ、ファシリテーターとしての役割を果たしていきたいと思っています。

東7階病棟看護師

日本糖尿病療養指導士（CDE）

尾辻 真由美

蓑部 町子

藤崎 夏子